

タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム 助成決定に当たって(2016年度)

1. 応募状況と審査の進め方

「タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム」は、東日本大震災による広域避難者のための支援活動を行う団体を対象に、資金や運営のサポートを行う助成です。武田薬品工業株式会社から約2億円を寄託され、2014年度から中央共同募金会が運営を行っています。

本プログラムの3年目となる今回は、20都道府県から29件の応募（締め切り後の応募1件を除く）がありました。このうち、助成対象外である東北3県内からの応募1件と書類不備の応募1件を要件不備とし、27件について審査を行いました。

審査委員5人による書面での審査結果をもとに、2月22日に開催した第2回助成審査委員会において協議を行い、助成候補団体を選出しました。その後、不明点等について応募団体および連携先に事務局から電話ヒアリングを行い、その結果、21団体に対する助成を決定しました。

2. 選考の論点

今年度（2016年度）は、行政による住宅支援の終了などが見込まれ、避難者や支援活動を行う団体にとって、大きな区切りとなることが予想されます。

今回の助成審査委員会では、応募要項に記載されている選考基準とあわせて、避難者や支援団体をとりにくく状況の変化をふまえ、審査時点では、本プログラムの延長が決定していなかったことから、本助成が最終年度であることを意識した審査を行いました。

本助成を継続して受けている団体からの応募については、応募内容とともにこれまでの活動実績も高く評価されました。避難者支援の全国的なネットワークの中でキーとなっている団体も多く、今後も各地域で中心的な役割を果たすことを期待して、助成を決定しました。一部人件費の割合が高い団体については、他団体とのバランスや助成が終了してしまう来年度以降の体制を考慮して減額しました。

新しい団体からの応募については、応募書から、地道に活動を継続されていることや、団体の創意工夫が伝わってきました。特に、昨年度は助成していない地域の団体からの応募については、行政支援や他の財源が減少している状況や地域バランスなどを考慮し、支援の優先度が高いと判断して、助成を決定しました。しかし、団体の規模や活動内容に対する応募額の必要性が読み取りにくいなどの理由から、助成見送り、減額助成や一部の活動のみを助成対象としたところがありました。

この結果、前年度（2015年度）の17団体の助成決定から、今年度の助成決定は、4団体増え21団体となり、より広い地域の団体に助成することになりました。

なお、活動内容としては、避難者をとりにくく状況の変化などに対応するための情報収集や発信、また、助成が終了した後も活動を継続できるよう、団体単独ではなく行政や、社協、地元団体などと連携して活動していくための、ネットワーク強化の取り組みにも多く助成決定しています。

3. 終わりに

震災から6年目を迎える今、財源や支援策がさらに減り、避難生活や、当事者団体の活動継続が大変厳しい状況であることが、応募書から伝わってきました。

一方で、本プログラムの助成を過去2年間受けた団体が、今年度は自立して応募がなかったことや、これまで任意団体として助成を受けていた団体が、今年度は法人格を取得し法人として応募をしてくるなど、本プログラムの成果も感じられた審査でした。

4月15日に開催したキックオフミーティングでは、助成決定団体21団体すべてが参加し、2015年度の助成団体も交えた、顔合わせや情報交換の場となりました。

助成決定団体からは、単に助成金の支援だけでなく、こうした場が年に数回持たれ、各地域でそれぞれ活動する団体同士のネットワークがつくられ、情報交換や相談しあえる関係ができるところにこの助成を受けるメリットを感じている、という意見が複数あげられました。

避難者や当事者団体を取り巻く状況が変わっていきませんが、助成を受けた団体が、今年度の研修や団体訪問を通じて、さらに力を付けていくことを期待しています。

なお、助成審査委員会の後の3月30日に、武田薬品工業株式会社のご協力により、本プログラムの2018年までの延長が決まりました。震災から5年を経て、公的支援の減少など様々な外部環境の変化により、今後ますます支援の必要性が高まるとともに、広域避難者のニーズの変化も予想されます。そこで延長プログラムでは、2016年度にニーズや支援実態を調査し、その後2018年度までの2年間の助成を行う予定です。

最後になりましたが、これまでの3年間のプログラムに多大なるご寄付とご協力をいただき、さらにまた、支援の延長を決めてくださった武田薬品工業株式会社に、深く感謝申し上げます。

以 上

タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム
助成審査委員会 委員長 稲垣 文彦